

森集人 (しんしゅうじん) プロジェクト

取組に至る背景・事業の目的

温暖化防止対策の重要性やエネルギーリスクが高まる中で、自然エネルギーの利用拡大が重要である。また、近年はスローライフや自然志向の高まりにより、薪ストーブ等の導入が広がり、薪の需要が増加している。

これに対し、飯田下伊那地域には山林が多く、バイオマス供給源が十分にあるものの、高齢化等の影響により、林家のみでは森林整備が実施できない状況になりつつある。

そこで、木材の供給側と需要側を結び付け、それぞれの立場で協力連携する仕組みを作ることで、森林資源の活用を図っていく。

事業内容

○間伐搬出作業等の実施準備

- ・ウインチ、薪割り木、ハシゴ等の間伐器具を購入し、事業スタートにあたって必要な機材等を準備した。
- ・森集人プロジェクトを立ち上げるにあたってのスタート説明会を開催した。
- ・豊田市旭区と恵那市山岡町の木の駅プロジェクトを視察し、森集人プロジェクト実施に向けて参考とした。
- ・間伐講習会やウインチによる搬出講習等を3回実施し、参加者の技術の向上や安全確保に努めた。



【森集人プロジェクト間伐講習会】

○間伐搬出作業及び薪づくりの実施

- ・12月から間伐作業を実施し、更に2月からは薪づくりにも着手した。

事業効果

○間伐作業は12月から3月までほぼ毎週末実施し、延べ80名という多くの参加者に協力いただいた。間伐面積は約1,000㎡、間伐量は約25㎥となり、当初目標としていた間伐量10㎥を大きく上回る結果となった。

○林家の支援につながるとともに薪需要者の薪の確保ができ、自然エネルギーの利用が推進された。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

マスコミや参加者のネットワークなどを通してプロジェクトの参加者を毎年募集していく。

間伐搬出作業は、重大事故等の大きなリスクを伴うと共に参加者自身の装備、安全確保の研修会、間伐搬出機材の維持管理等に今後とも少なからぬ経費が必要となるため、関係機関と連携して間伐材の安定した販路拡大を強化し、プロジェクトの継続的な取り組みができるように努めたい。

【選定のポイント】

地域住民が参加する森林資源の有効活用を促進するための新たなプロジェクトを立ち上げ、多くの参加者の協力により、初年度から想定以上の成果を上げた。支援終了後も継続してプロジェクトを推進しており、今後の活動も大いに期待できる。

団体名	いいだ自然エネルギーネット山法師(飯田市)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	090-8687-8517	事業費	1,211,947円
ホームページ	http://yamabousi.net/index.htm	支援金額	800,000円